

2025 年 6 月 20 日 第 3516 回例会

於： 横須賀商工会議所

- <点鐘・開会> 12:30 高橋 会長
<斉 唱> 「それでこそロータリー」
<新会員入会式> *高橋 岐武 会員



- <会 長 報 告> *第1グループ会長・幹事会 報告
*第12回理事役員会 報告
*ガバナー事務所より
・2026年夏出発 青少年交換学生募集について
クラブ内受付期間：9月3日（水）～10月3日（金）必着
地区提出〆切：10月24日（金）必着
派遣国及び期間：カナダ・ブラジル・メキシコ・ドイツ・イタリア・
フランス・台湾・デンマーク・スウェーデン
2026年8月～2027年7月（11カ月以上1年未満）
派 遣 人 数：最大10名

- <委員長報告> *ローターアクト委員会 大野委員長より
地区ローターアクト主催「社会奉仕活動」報告

- <幹 事 報 告> *第1グループIM報告書 配布
*ガバナー月信No. 12 配布
*例会終了後第6回被選理事役員会 開催

- <出 席 報 告> *出席委員会 角井副委員長から6月20日の出席報告

会 員 数	出席対象者数	出席数(ZOOM 出席数)	欠 席 数	メイクアップ 数	出 席 率
113名	140名	70名(2名)	34名	6名	72.38%

メイクアップ：勝見、小林(一) 両会員 理事役員会出席
北村、齋藤(秀)、前田 各会員 地区委員会出席
小山(陽)会員 横須賀RAC例会出席

<ニコニコ報告>

- ・久保田 会員 入会月祝いとして
- ・三 役 本日は第4回クラブ協議会年度報告です。各委員長の皆様ご報告宜しくお願いいたします。
- ・大石、児玉、八木、小澤、植田、谷、野坂、鈴木勲、江沢、森、江口、権田、飯塚、鈴木健、山下、竹株、松本明、八巻、

久保田、田 邊、徳 永、小佐野、鈴木 肇、岡田 慎、萩 原 各会員

本日は第4回クラブ協議会、年度報告です。三役、理事、各委員長の皆様、1年間お世話になりありがとうございました。報告もよろしくお願いいたします。

- ・岡田 隼、大野 健、加藤 博、濱 田、杉 浦、角 井、長 尾、
椿、梁 井、岩 崎、齋藤 眞、物 井、田 中、小山 慎 各会員

本日の第4回クラブ協議会で報告をさせていただきます。1年間ご協力いただきましてありがとうございました。

- ・三 役 高橋岐武会員ご入会おめでとうございます。奉仕活動、親睦活動を一緒に楽しみましょう！

- ・木 村、梶 木、八 木、植 田、杉 浦、角 井、川 名、
八 巻、上 林、比 護、三 井、齋藤 眞、萩 原、岡田 慎、鈴木 肇 各会員

高橋岐武会員入会おめでとうございます。共にロータリーライフを楽しみましょう。

- ・高橋 肇 会員 本日入会させていただきました高橋と申します。少しでもお役に立てればと思っております。今後とも何卒よろしくお願いいたします。

- ・児 玉 会員 拠点縮小によりロータリーを退会することになりました。これまでありがとうございました。

- ・荻 山、濱 田、真 野、徳 永、齋藤 肇、瀬 戸、藤 村、高橋 肇 各会員

夏の高校野球、三浦学苑・横須賀学院ともに地区予選の抽選会でシート校に選ばれました。初戦からの戦いが楽しみです。

- ・石 田、高橋 肇、久保田 各会員 梅雨前線が消滅するなど異例の気象の中、6月3日ぶりに大谷選手の二刀流が復活。投打での更なる活躍に期待が高まります。バレーボールも男女とも快進撃中、やっぱりスポーツはいいですね。

<卓 話>

第4回クラブ協議会（年度報告）

1. 高橋 隆一 会長

2024-25年度のクラブテーマは、RIテーマの中から「平和構築と紛争予防」でした。日本の中でも、数多くの基地や教育施設がある横須賀独特の環境を生かし平和の為の抑止力（自衛隊）を皆さまと共に考えていこうと云うものでした。また二つ目のテーマとして、人口減少の中で若年層の流出が多い事を教育の観点から考えてみましょうと掲げました。年間の主な卓話として、自衛隊の各職種学校から防衛に関する卓話、教育関係として新倉教育長を始め、先週は浅葉会員に様々な教育テーマを話して頂きました。卓話の7回が防衛関連でしたので自分のカラーは出せたと思います。会員の皆さまにおかれましては有意義な情報を感じていただけましたら幸いです。今年度は、昨年11月に親睦旅行を実施致しました。静岡県御殿場市の陸上自衛隊富士学校を訪問し、翌日には忍野八海、ワイン工場を見学いたしました。大型バスでの1泊2日の旅行でしたが、会員の皆さまの親睦が深まったと思っております。また、今年度の情報集会では、ネパールにおける国際ロータリーグローバル補助金を使った事業についての説明をしました。皆さまのご理解と国際奉仕委員会、次年度のご協力により事業として進みつつあります。更に、渡邊年度以降、様々な活動へと広がっていくと信じております。皆さまには引続きのご支援を宜しくお願い致します。そして、3月の1万メートル清掃活動、メルキュールホテルでのIM、5月の職場見学会（浅草での寄席と麦とろ食事）、更に6月には急遽、職場見学会第二弾として練習艦隊の晴海回航乗船体験と、各委員会の委員長、委員の皆さまのご協力により慌ただしく駆けて参りました。次に会員数の動向であります。7月の年度スタート時は、115名でありました。今年度は小沢会員、岡会員、長島会員と三人の現役会員がお亡くなりになり、世相を反映して会社からの指示により何人かの会員が退会されました。会員増強については会員増強・会員維持委員会に頑張っていたのですが、最終の会員数予定は111名です。自分の力不足で会員数が減ってしまい申し訳ありません。最後に、理事会の皆さま、各委員会の皆さま、正副SAA、事務局の三宅さん、そして会員皆さまのご支援とご協力に心より感謝を申し上げて、会長としての年間報告とさせていただきます。一年間、本当にありがとうございました。

2. 会計 鷺尾 精一 会員

収入面では、会員の皆さまからの会費に加え、ニコニコBOXの収入も計画を上回り、予算通りの収入が見込まれております。支出面につきましては、分担金および総務費ともに予算内に収まる見込みです。事業費に関しては、個別の事業において一部予算を超過したものとございましたが、全体としては予算内に収まるよう配慮し、事業の遂行とクラブ全体の財政に影響が出ないよう努めて参りました。なお、直近の事業決算および最終例会に関する支出がまだ見込まれておりますため、最終的な決算報告につきましては、会計監査を受けた後、改めて会員の皆さまにご報告させていただきます。

3. SAA 小山 美智恵 会員

年度当初に掲げた計画について、一年間を振り返りご報告申し上げます。活動報告書には、雰囲気の良い円滑な例会の進行、楽しい歓談の場となるようなテーブルの席割り、そしてニコニコボックスを通じて、会員の皆さまの感謝や祝意を表す機会として快くご寄付いただけるよう努めることを挙げておりました。例会の運営にあたっては、親睦活動委員会、会報委員会、デジタル委員会の皆さま、そして三宅さんに多大なるご協力をいただきました。なかでも比護副SAAには、常に安心して任せられる存在として支えていただき、心より感謝申し上げます。また、BGMの選曲については、私なりのささやかな楽しみとして、裏テーマをそっと込めながら選んで参りました。少しでも何か感じ取っていただけていたら幸いです。ニコニコについては、前半は好調に推移し、後半はやや穏やかな上昇となりましたが、皆さまの温かいお気持ちに支えられ、目標額350万円に対し、6月13日現在で3,508,251円と目標を達成することができました。ここまで来られたことに、ほっと胸をなでおろす思いです。改めて深く御礼申し上げます。残すところあと2回となりましたが、引き続き、笑顔になれるようなメッセージをお寄せいただけましたら幸いです。次年度は比護SAA、椿副SAAへとバトンをお渡しいたします。今後とも変わらぬご支援、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。一年間、本当に貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。

4. 渡邊 磨 副会長

高橋会長の方針に従い、陸上自衛隊富士学校への親睦旅行をはじめ、防衛・防災そして教育をテーマに様々な活動に取り組んで参りました。会員の皆さまには、多大なるご協力を賜り、心より感謝申し上げます。副会長としては、会長・幹事と共にクラブ運営に従事する一方、様々なイベントや卓話者の方々との対話を通じて、多くの学びの機会をいただき、大変貴重な経験となりました。あとは最終例会懇親会での閉会のご挨拶を残すのみとなりますが、最後までしっかりと努めさせていただきます。一年間、本当にありがとうございました。

5. 会報委員会 梁井 康市 委員長

一年間を通して、委員の皆さま、事務局の三宅さんのご協力により、会報を順調に発行できました。また誤記のご指摘等、皆さまからのご指導もあり会報の品質改善にも取り組みました。皆さまのご協力、ご尽力に感謝申し上げます。ここで、先日実施させていただきましたペーパーレス化に関するアンケートの結果についてお知らせ致します。アンケートの回収数は61で全会員の約55%でした。その中で会報のペーパーレス化に賛成の方が約84%で、どちらでもよいとお答えいただいた方も含めると約90%でした。プログラムのペーパーレス化に賛成の方は約72%で賛成の比率はやや低めでした。本結果を受けまして、理事会に諮らせていただいた結果、会報のペーパーレス化については、紙の会報をご所望の方々もおられることから、会場入口に紙の会報を少数部数置くことを前提に本運用へ進める方針とされました。プログラムのペーパーレス化につきましてはスクリーンでは見にくい等のご指摘もあり、紙での配布を継続し、ペーパーレス化の方法を継続検討することとされました。皆さま、本検討につきましてご協力いただきありがとうございました。アンケート結果に基づく今後の方針につきましてご理解をいただければ幸いです。本方針で次年度に引き継がせて頂きますが、これですべて検討を終わるというわけではございませんので、もっと良い方法がある等、忌憚のないコメントは随時お聞かせいただければと思います。一年間、どうもありがとうございました。

6. 雑誌委員会 杉浦 浩子 委員長

基本的に第一例会において「ロータリーの友」を紹介しておりました。会員の皆さまに必ず目を通して頂きたいR I 指定記事はもちろん、ともすれば読み飛ばしてしまいそうな記事にも着目してご案内してきました。江口副委員長と持ち回りでご案内しそれぞれ偏らない視点でご案内できたかと思えます。特に今年度はロータリーの友電子版についても折りをみてご案内してきました。創刊からのロータリーの友が読めるのも大変楽しいので会員の皆さまにおかれましては機会をみて電子版のロータリーの友をご覧ください。一年間ありがとうございました。

7. 出席委員会 角井 駿輔 副委員長

当委員会は、臼井委員長・笠木会員・松本(明)会員そして当職と、少数精鋭の委員会として毎回の出席率の報告、出席確認ができていない会員への確認の徹底等を行って参りました。途中、臼井委員長がご病気のため長期にわたりご不在となりましたが、その間も残りのメンバーで分担をしながら、なんとか今日を迎えることができました。本来であればこの報告も臼井委員長の爆笑トークで行っていただくべきところでしたが、当職による淡泊な報告で誠に申し訳ありません。次年度は森委員長のもと、実直な委員会運営を行われることと思いますが、これからも出席率向上のため、例会への積極的な出席をお願いするとともに、他クラブやローターアクトクラブ、地区セミナーへの参加によるメークアップの利活用をご検討いただくことをお願いして当委員会からの報告とさせていただきます。一年間どうもありがとうございました。

8. 親睦活動委員会 岡田 圭太 委員長

本年度の大きな活動としては、まず昨年11月8日・9日に実施いたしました会員親睦旅行会でございます。山梨方面へと足を運び、総勢25名の皆さまにご参加いただきました。そして、12月20日(金)には、メルキュールホテルにて年忘れ家族会を開催いたしました。会員、ご家族、ご来賓合計110名にご参加いただき、盛大な会となりました。これらの大きな行事が無事に終了できましたのは、ひとえに会員の皆さまのご協力のおかげと深く感謝しております。また、毎週の例会においても、当番以外の委員会メンバーの方がお忙しい中、早くから会場設営や準備にご尽力くださり円滑に進めることができました。親睦委員会の皆さまのご協力に心より感謝申し上げます。最後になりますが、三役の皆さまや諸先輩方にも年間を通して多大なるご指導とサポートを賜り、楽しく、そしてやりがいをもって活動を続けることができました。改めて皆さまのご協力に心より感謝申し上げます。一年間、本当にありがとうございました。以上、親睦活動委員会の報告とさせていただきます。

9. プログラム委員会 岩崎 次郎 委員長

本年度の例会における卓話プログラムにつきましては、会長の強いリーダーシップのもと、新年度の開始時点ですでに半年以上先までの企画を立案・決定することができました。加えて、三宅さんやデジタル委員の皆さまのご協力もあり、毎回の運営を円滑に進めることができましたことを、心より感謝申し上げます。卓話の内容におきましても、会長、副会長、幹事の皆さま、そしてプログラム委員会メンバーとの連携を密に取りながら、会員の皆さまにご興味を持っていただけるよう工夫を重ねて参りました。特に会長や斎藤隆会員が得意とされる分野である未来の日本を守る防衛や教育を中心に、地元出身のアスリート、プロ野球選手や、オリンピックを目指す若きスノーボーダーなど、各分野で活躍される卓話者をお招きすることができました。これにより、例会に参加された皆さまには、知識とパワーを得ていただけたものと感じております。今年度の特色がよく表れた、充実したプログラムとなりました。改めて、運営にご協力いただきましたすべての皆さまに感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

10. 広報・公共イメージ委員会 物井 宏介 委員長

ロータリーは、『自分を変えるきっかけを与えてくれる』という一面もあります。SNS嫌いの私がラインに登録し、スタンプににんまりするようになりました。委員会活動は、様々な課題を松本(明)委員長に引き継いでしまいましたが私ももう一年、地区も含め、この委員会に関わります。幸い、ホームページ制作が仕事の堀川会員、ジェイコムの吉田(久)会員と最強メンバーがそろいました。イメージアップを目指し、ゆる

キャラもスタンバイしております。次年度にご期待いただき、報告とさせていただきます。ありがとうございました。

11. デジタル委員会 木村 一郎 委員長

例会でのZ o o m配信と設営が主だった仕事です。Z o o m設備の簡略化もあり設営に費やす時間は短くなりました。その他にマイロータリーの登録のお手伝いもデジタル委員会のお仕事です。まだ、マイロータリー未登録の会員は是非ご相談ください。Z o o m設営に関しては親睦活動委員のご協力もありスムーズに行えていると思います。ありがとうございました。

12. ラーニング委員会 岡田 英城 委員長

私が70周年の会長を務めていた時に、会員の皆さんと中期ビジョンを策定しました。「五大奉仕を切り口に、どのようなクラブを目指すか」をテーマに、この3年間意見交換を続けてきました。その中から生まれたのが「ネパール給水プロジェクト」です。ロクナト会員、エノーラ会員、鈴木(孝)会員、そして私の4人で昨年現地に赴き、ニーズを確認しました。今年3月には、次年度の三役とロクナト会員が再訪し、今後の連携について話し合いました。9月には現地パートナーのチトワンRCから4名が横須賀に来る予定です。横須賀市や在住のネパール人、ローターアクター、インターアクターも巻き込みながら、地域と世界をつなぐ活動へ広がっていくことを願っています。このプロジェクトはR Iのグローバル補助金事業にも認定され、来期から本格始動します。4年かけて会員の声有形になった、意義深い事業だと感じています。新会員セミナーでも説明しましたが、横須賀RCには「出席免除」という制度があります。入会20年と年齢を足して85になると得られるもので、私は来年3月にその資格を取得予定です。当初は「お疲れさまでした、ゆっくりしてください」という意味合いだと思っていました。でも今では、「後輩を育てて、新しい仲間を迎えなさい。いつまでも同じ人がやっていたら組織は成長しません。」というクラブからの強力なメッセージだと受け止めています。クラブを活性化するととても良い制度だと思います。私自身は退くのではなく、次のステージに進む節目としてこの権利を受け取りたいと思っています。

13. 職業分類委員会 齋藤 眞旦 委員長

職業分類表に基づき、充填・未充填の状況を把握し、情報、会員増強・会員維持、会員選考の各委員会との連携を密にし、横須賀ロータリークラブに相応しい方の入会促進に取り組み、理事会の決定に迅速に対応いたしました。ありがとうございました。

14. 会員選考委員会 長尾 和典 委員長

今年度の下半期では、4つの会員選考基準

- (1) 人格、資質を十分に備えている人
- (2) 事業所の健全な経営者であると共にその事業所を代表して発言できる人
- (3) 会員として財政的負担を果たし、例会に率先して出席できる人
- (4) 協調性のある明るい人

をすべて備えている方々5名が入会され、一年間で合計9名の方々が入会されました。一年間ありがとうございました。

15. 会員増強・会員維持委員会 濱田 恵里 委員長

会員増強・会員維持委員会では、月に一度、例会後に委員会を開催し会員になって頂きたい方達のリストアップをすると共に、当クラブ会員の方達へ会員増強維持への意識を持って頂くようお願いして参りました。その結果、5名の方の新規入会がありました。しかし残念な事に鬼籍に入られた方が3名、会社都合が2社、自己都合が3名、引き継ぎが次年度1名で6月末には4名減の111名となる予定です。ただ、次年度以降に入会希望の方が数人います。会員増強は、ポール・ハリスが創立間もなく直面した会員減少とそこからの様々な取り組みに学び、いかに大切かという事を常に会員全員で考えていかなければいけない課題だと思われます。これからもよろしくお願い致します。一年間ありがとうございました。

16. 職業奉仕委員会 椿 和香 委員長

職業奉仕委員会では、1月に横須賀学院の中学3年生による職業体験を実施し、5月には浅草の寄席を観覧する第1弾職場体験、6月には第2弾となるかしまの訓練航海の艦船に乗船体験致して参りました。急なご案内や不備等ご迷惑をおかけいたしました、無事に全ての委員会活動を終えられましたのは、会員の皆さまのご協力のおかげでございます。一年間のご協力に心より感謝申し上げます、ありがとうございました。

17. 社会奉仕委員会 田中 由紀子 委員長

本年度の社会奉仕委員会の3つの柱は、ポリオ撲滅募金活動、10,000メートルプロムナードグリーン作戦、市内作業所製品の例会での販売会でしたが、活動にご参加頂きました皆さま誠にありがとうございました。そして1から10までいろいろと教えて頂きました加藤敦会員、一年間一緒に伴走して頂き本当にありがとうございました。斎藤(秀)次年度委員長との引き継ぎの時点ではこの3つの取り組みを継続する旨を伺っております。横須賀ロータリークラブの社会奉仕活動をつないで活動のさらなる発展を願っております。

18. 国際奉仕委員会 加藤 淳 委員長

今年度は「新たな国際奉仕テーマの諸準備年度」として、2020年度より進めて参りました中期ビジョン委員会のテーマを実現させていくため、国際奉仕メンバーのみならず、他の会員の皆さまにもご支援・ご協力頂き、本年4月に無事財団より「ネパールのチャムガ・カスワ村の安全な飲料水の給水プロジェクト」がグローバル補助金の承認を頂くことができました。この場をお借りして御礼申し上げます。そして、次年度はネパールチトワンロータリークラブと「環境整備等の確実な実行、そして効果測定」に向け連携していくとともに、この絆を大切に日本とネパールの架け橋となり、更なる地域社会に利益をもたらす活動となるよう皆さまの深いご理解とご支援のもと努めて参ります。本当に一年間、ありがとうございました。

19. 青少年奉仕委員会 小山 陽生 委員長

青少年奉仕委員長として一年間努めて参りましたが、現在、三浦学苑で学校生活を送っていますブラジルからの交換留学生ルアリー、また三浦学苑からブラジルへ派遣され学園生活を営んでいます高石さんが、もうすぐ出国また帰国する時を迎えようとしています。私はルアリーの送迎係も担当しており、ホストファミリーをして頂きました皆さまやカウンセラーをして頂きました八巻さんには及びませんが、短い時間でしたがルアリーの人となり垣間見ることが出来ました。今は95歳になろうとしている母親と一緒に暮らしており、難しい環境ですが、何時かは私もホストファミリーになってもっと留学生と一緒にいたいと思えました。次年度は交換留学生が不在で青少年奉仕委員会が無くなってしまい、少し寂しい感じがします。

20. ローターアクト委員会 大野 健男 委員長

年度を通して、ロータリアンとアクターが相互理解を深めるため、できるだけ接点を増やす事に取り組んで来ました。取り組みとしては、アクトの例会でロータリアンの方に卓話をして頂く事です。ご協力頂いた会員の皆さまありがとうございました。後期には、アクターの意向を尊重し、例会運営を行って参りました。特に2月に三浦学苑で行われたアクトとインターの合同ボードゲーム例会等、精力的に活動して参りました。年度を通して、良い意味で種まきの一年になったのではないかと思います。私自身、自分よりも若い世代の方々と一緒に活動が出来て、良い刺激になりました。又、来年は横須賀RAC50周年の記念すべき年になります。来期も引き続き、ロータリアンの皆さまにはご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。一年間、ありがとうございました。

21. インターアクト委員会 石田 裕樹 委員長

三浦学苑インターアクトクラブは昨年4月に新入生16名を迎えスタートしました。今年3月に3年生5名が卒業しましたが、4月より1年生5名、2年生1名の入会があり新年度は22名のメンバーでスタートします。卒業生5名のうち3名は横須賀ローターアクトクラブへ入会してくれました。非常にうれしく思います。一年間、月に1回の地区委員会及びアクターズミーティングに参加させて頂きましたが、非常に多くの経験を学生達とともに学ばせていただきました。来年度は再登板となります小山(陽)会員が委員長、そして杉浦会員が地区委員となります。杉浦会員は初めての事も多く不安もあるかと思いますが小山(陽)委員長がいれば何も怖いものはありません。更なる飛躍の年となるよう願っております。ありがとうございました。

22. ロータリー財団委員会 土田 匡明 委員長

会員の皆さまからは会費納入時にご寄付を頂きありがとうございます。米山奨学金とロータリー財団の寄付としてR Iに送金となっております。ロータリー財団への寄付目標は200ドル/人となっております。本年度は、年次寄付：クラブ合計26,514ドル（1人あたり230ドル）、ポリオ寄付：クラブ合計6,016ドル（1人あたり52ドル）となりました。今後とも会費納入時のご寄付、並びに任意でのご寄付をお願い致します。

23. 米山奨学委員会 曾我 宗光 委員長

「ロータリー米山記念奨学会」は、日本で学ぶ外国人留学生に対する支援を目的とし、その支援はクラブ会員の皆さまからの寄付金に依っております。会員の皆さまにおかれましては、今年度も米山奨学事業目標達成のためにお願いをしておりました各会員2万円以上の寄付にご協力いただき誠にありがとうございました。今年度は、米山奨学生の金翰晃さんと朴裁潤さんのお二人が学業等で忙しい中、クラブ会員との親睦を深める機会として、多くの例会に出席していただくことができました。下記は齋藤(秀)地区米山奨学委員長の指揮のもとに行われました主な地区行事の記録となります。次年度も引き続きどうぞ宜しくお願いいたします。

【2024年】

- ・7月27日（土）「米山学友会総会」
- ・8月24日（土）「米山奨学カウンセラー研修会」
- ・9月21日（土）「米山研修旅行」
- ・11月17日（日）「クリーンキャンペーン」

【2025年】

- ・2月16日（日）「学友会総会・終了生オリエンテーション・終了式・歓迎会」
- ・5月17日（土）「米山奨学生と同窓生の集い・懇親会」

24. 危機管理委員会 田邊 一三 委員長

R Iの危機管理は当初は「青少年と接する際の行動規範に関する声明」を基に青少年プログラムのための危機管理としてはじまりました。しかし、近年は「ロータリアンへのハラスメントの無い環境を維持すること」へと対象が拡大してきました。自然災害・パンデミック・紛争など世界的な危機管理への関心も高く、又パワーハラスメントやセクシャルハラスメントそしてジェンダーハラスメントなどへの意識も高まり、その対応に細心の注意が必要とされています。対応を一步間違えるとクラブの存続にも大きな影響を及ぼしかねません。今年度も会員の危機管理意識を高めるための情報を提供するよう努めて参りました。会員の危機管理意識の浸透により本年度も何事もなく無事に最終日を迎えることができます。会員皆さまのご協力に感謝申し上げます、危機管理委員会の報告と致します。

25. 兼城 毅 幹事

会員の皆さまのご協力とご支援のおかげで、例会運営ならびに各事業を滞りなく実施することができました。心より御礼申し上げます。会員の皆さまが例会を楽しみ、有意義な時間を過ごしていただけるよう、幹事として努めて参りました。奉仕活動や親睦活動においては、各委員長の企画力と実行力に大いに助けられ、楽しく実りある活動となったことを確信しております。この場をお借りして、各委員会委員長、理事役員の皆さま、そして会員の皆さまに改めて感謝申し上げます。私自身、今年度4回も例会を欠席しましたが、その際には鈴木豊司副幹事に快く代役を引き受けていただき大変感謝しております。次年度に向けた予行演習としても、素晴らしい準備ができたのではないかと感じております。次週の最終例会を残し、少し早いご挨拶となりますが、改めて会員の皆さまに御礼申し上げます。また、高橋会長、渡邊副会長、小山SAA、そして事務局の三宅さんには一年間にわたり多大なるご支援をいただき、心より感謝申し上げます。一年間、本当にありがとうございました。

＜閉会・点鐘＞ 13:30 高橋 会長

週報担当 川 名 稔